

道軟連合報

2021年度 後期号
2021.12.24
第80号
発行所
北海道軟式野球連盟
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
発行者 奥山英明
編集者 総務部
印刷所 岩橋印刷株式会社

二〇二二年度支部理事長連絡会議の開催

コロナ禍で昨年開催が出来なかった「支部理事長連絡会議」が令和三年十一月十四日（日）にホテルノース

シティで各支部の理事長出席のもと開催され、久しぶりの対面会議で活発な議論がなされました。



○報告事項

- ・次期（二〇二二・二〇二三年）役員選考状況について
- ・二〇二一年度一般会計予算の決算見込みについて
- ・公益財団法人全日本軟式野球連盟二〇二一年度功労者表彰候補者の推薦について
- ・北海道軟式野球連盟表彰規程に關わる二〇二一年度功績賞等の推薦について
- ・第四回東日本軟式野球（一・二部）南北・北海道大会について
- ・二〇二二年度東日本一部・二部全国大会について他

○協議事項

- ・二〇二一年度北海道大会に關わる総括について
- その他
- ・公益財団法人全日本軟式野球連盟の動向について
- ・二〇二二年度組織財政検討委員会の設置について
- ・北海道軟式野球連盟の法人化について 他

◆お知らせ◆

☆「令和四年度定時評議員会」の開催予定

日時：令和四年三月十二日（土）午後二時（予定）

場所：「ホテルノースシティ 二階 金柔」

札幌市中央区南九条西一丁目

地下鉄南北線「中島公園」駅下車 徒歩五分

特報!

「高円宮賜杯第四十一回全日本学童軟式野球大会 マクドナルドトーナメント」で第三位の大健闘!! チーム「岩見沢南ビクトリー」を表彰

二〇二一年八月一七日から新潟県で開催され全国五四チームが出場した「高円宮賜杯第四一回全日本学童軟式野球全国大会」で北海道南ブ

ロックを代表して出場し、見事第三位の成績を収めたことから、今般開催した「支部理事長連絡会議」の席上本間会長から全国大会の成績を讃え表彰状と記念品が贈られた。



道連本間会長から授与

大阪府代表 長曾根ストロングス

Round	Time	Team 1	Score	Team 2	Score
8月18日	9:00	1 (A) 多賀少年野球クラブ	8	2 (C) 山崎ジュニアドラゴンズ	7
8月18日	9:00	3 (A) 宮城大崎ジュニアドラゴンズ	7	4 (A) 宇治フアイトライズ	5
8月18日	10:45	5 (A) 岩見沢南ビクトリー	7	6 (C) 山崎ジュニアドラゴンズ	6
8月18日	12:30	7 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	6	8 (B) 三好有出レッドウィングス	2
8月18日	14:15	9 (A) 長曾根ストロングス	8	10 (A) SNSベニスボールクラブ	6
8月19日	9:00	11 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	8	12 (A) 三好有出レッドウィングス	2
8月19日	9:00	13 (A) 長曾根ストロングス	8	14 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7
8月19日	10:45	15 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	16 (A) 長曾根ストロングス	8
8月19日	12:30	17 (A) 長曾根ストロングス	8	18 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7
8月19日	14:15	19 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	20 (A) 長曾根ストロングス	8
8月20日	9:00	21 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	22 (A) 長曾根ストロングス	8
8月20日	9:00	23 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	24 (A) 長曾根ストロングス	8
8月20日	10:45	25 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	26 (A) 長曾根ストロングス	8
8月20日	12:30	27 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	28 (A) 長曾根ストロングス	8
8月20日	14:15	29 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	30 (A) 長曾根ストロングス	8
8月21日	9:00	31 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	32 (A) 長曾根ストロングス	8
8月21日	9:00	33 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	34 (A) 長曾根ストロングス	8
8月21日	10:45	35 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	36 (A) 長曾根ストロングス	8
8月21日	12:30	37 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	38 (A) 長曾根ストロングス	8
8月21日	14:15	39 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	40 (A) 長曾根ストロングス	8
8月22日	9:00	41 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	42 (A) 長曾根ストロングス	8
8月22日	9:00	43 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	44 (A) 長曾根ストロングス	8
8月22日	10:45	45 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	46 (A) 長曾根ストロングス	8
8月22日	12:30	47 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	48 (A) 長曾根ストロングス	8
8月22日	14:15	49 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	50 (A) 長曾根ストロングス	8
8月23日	9:00	51 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	52 (A) 長曾根ストロングス	8
8月23日	9:00	53 (A) 山崎ジュニアドラゴンズ	7	54 (A) 長曾根ストロングス	8

天皇賜杯 第七十六回 全日本軟式野球北・北海道大会 ENEOSTーナメント

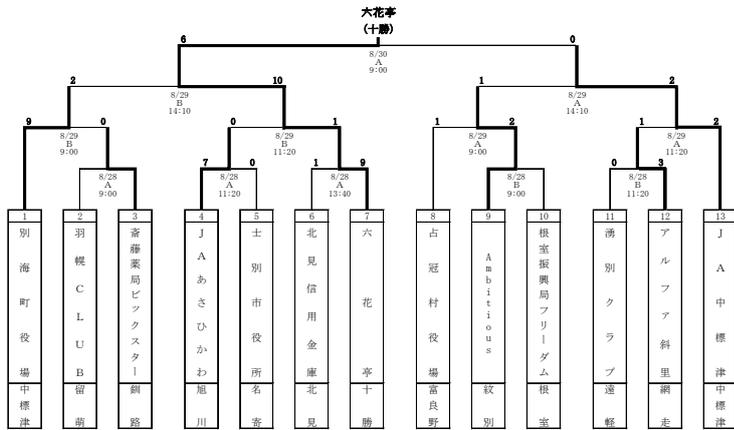
優勝・六花亭（十勝支部）



今年の天皇賜杯第七十六回全日本軟式野球北・北海道大会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当初の日程から延期となり、八月二十八日から三十日までの三日間にわたり、中標津町営球場・別海町営球場で十一チームにより本大会が開催されました。

緊急事態宣言直後の開催というこ

ともあり棄権するチームが出ましたが、体温チェックを行うなど、万全の体制で始まった今大会。選手皆さんのレベルの高い天皇賜杯らしい好プレーが目立ち、熱戦を繰り広げ



ました。

事実上の決勝戦となった別海町営球場で行った第二回戦、「六花亭」対「JAあさひかわ」戦では、八回までお互い無得点と予想通り緊迫した試合となつて九回裏、六花亭が劇的なサヨナラ勝ちを収めた。

決勝に駒を進めたのは、さきほど紹介した「六花亭」と、ここまで熱戦を制して勝ち上がった「JA中標津」が対戦。これは天皇賜杯北・北海道大会三年連続同一カード決勝となった。

試合は、三回までに四点を奪い試合を優位に進め、終わってみれば六対〇で六花亭が見事優勝。六花亭の先発ピッチャーは、最後まで投げきった上にツーランホームランを放つなど投打に活躍した試合だった。最後に、コロナ禍の中、大会期間中において、試合運営に関わった役員の皆様、審判員の皆様など多くの方々に協力をいただき心よりお礼を申し上げます。

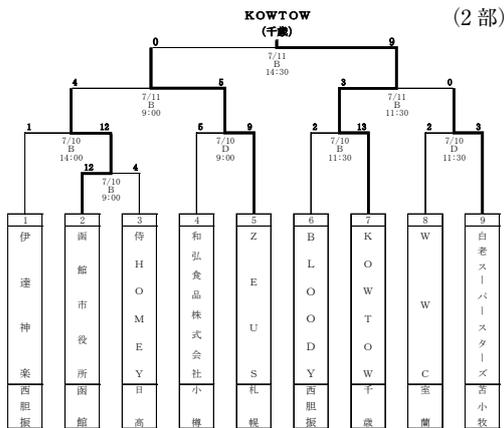
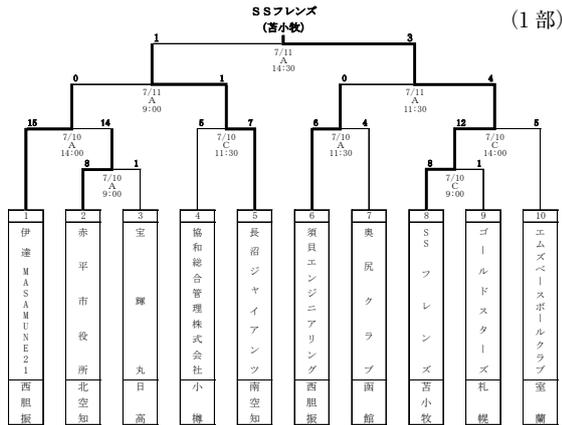
（中標津支部 橋本辰司）

高松宮賜杯 第六十五回 全日本軟式野球大会（一・二部） 南北北海道大会

今年も新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が五月十六日に発出され、さらに、六月も延長されて道大会が開催できるか心配であったが、二十日に解除され、予定通り七月十日から開催することになった。

しかし、予選を実施できなかった支部もあり、一部では後志・石狩・北空知の三支部、二部では後志・石狩・南空知・北空知の四支部が不参加となり、一部十チーム、二部九チーム、大会期間が二日間となった。

会場は室蘭支部の二会場を含め四会場であったが、室蘭・登別では大会前から雨が降り続き、大会初日も雨が止まず、とても試合が出来る状態でないため、道連派遣役員と協議、翌日も雨が降り続く予報のため、室蘭・登別会場での開催は断念し、すべての試合を伊達の二会場で行うこととし、準決勝までを七イニング制で行い、日程を一日増やして十二日までの三日間、決勝戦を順延日に行うことで決定し、参加チーム



に連絡した。今年の大会は新型コロナ感染防止のため、監督会議を実施しなかったため、会場や試合時間が変更になる可能性を連絡できなかったこともあり、急な変更で戸惑われたチームもあって、ご迷惑をかけたことお詫びいたします。

一部決勝に駒を進めたのは南空知支部の「長沼ジャイアンツ」と若小牧支部の「SSフレンズ」で、接戦を制した「SSフレンズ」が優勝、二部では札幌支部の「ZEUS」と千歳支部の「KOWTOW」との対戦となり、試合は「ZEUS」が勝

利したが、大会後に登録外選手の出場が発覚して没収試合となり「KOWTOW」が優勝となり、この二チームが全国大会出場の切符を手に入れました。

大会期間中、ご支援をいただいた道連派遣の役員、大会運営に全面協力をしていただいた空室支部役員、審判員の皆さん、道南ブロックから協力いただいた交流審判員、そして、地元審判団・役員、運営に協力いただいた地元チーム関係者の皆さんに深く感謝を申し上げます。

(西胆振支部 飯尾敦司)



高松宮賜杯 第六十五回 全日本軟式野球大会(一・二部) 北・北海道大会

当初六月二十五日からの日程でしたが緊急事態宣言の発出を受け、七月三十一日から八月二日までに変更しての開催となりました。

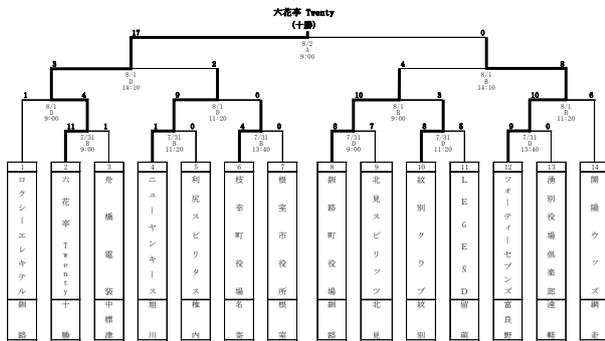
一ヶ月余り延期になったとは言え、宣言中は予選ができないうえ、天候によっては代表決定に至らない支部も出てくるのが懸念されましたが、そこはさすがです！全支部代表が出揃い(残念ながら棄権一チーム)、運営にも力が入る中、大会は

スタートしました。一部十三チームはウインドヒルひがし北海道スタジアム(釧路市民球場)・釧路市阿寒町野球場、二部十四チームは釧路市音別町野球場。厚別町宮園球場にて、代表の意地をかけた熱い戦いを繰り広げました。初日は釧路らしからぬ気温三十度超えの猛暑(釧路人にとっては猛暑)。二日目はガラッと変わり雨模様のため、七回戦で行いこの日予定の試合を終えました。

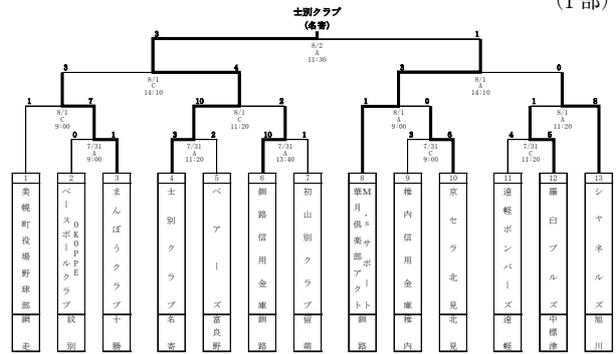
そして最終日の決勝戦、釧路が誇る道内球場唯一の全面人工芝、ウインドヒルひがし北海道スタジアムでまずは二部の十勝支部代表六花亭Twenty対富良野支部代表フォーティーセブンス。二回から打線が爆発した十勝支部が富良野支部の反撃を許さず、十七対〇の五回コールドで優勝しました。一部決勝戦は名寄支部代表士別クラブ対釧路支部代表M'sサポート華月倶楽部アクトの対戦。釧路支部が先制しましたが、中盤から着実に得点を重ねた名寄支部が三対一で一部を制しました。本大会二十五試合中、コールドゲームが六試合、延長試合は無く、概ね予定通り全日程を終了いたしました。

（釧路支部リポーター 佐藤泰雄）

(2部)



(1部)



去る七月三十一日(土)から八月二日(月)までの三日間、石狩市・江別市・当別町を会場に全二十四チームによる本大会を開催いたしました。大会期間中にあつては、支部予選を勝ち抜いてきた強豪チームばかり！一回戦より熱戦に次ぐ熱戦でした。その中で、決勝に駒を進めたのは、準決勝で旭川支部代表を一点差で押し分け、勢いに乗った石狩支

第七十六回国民体育大会軟式野球競技北海道大会 代表に神出設計eCoaハウス

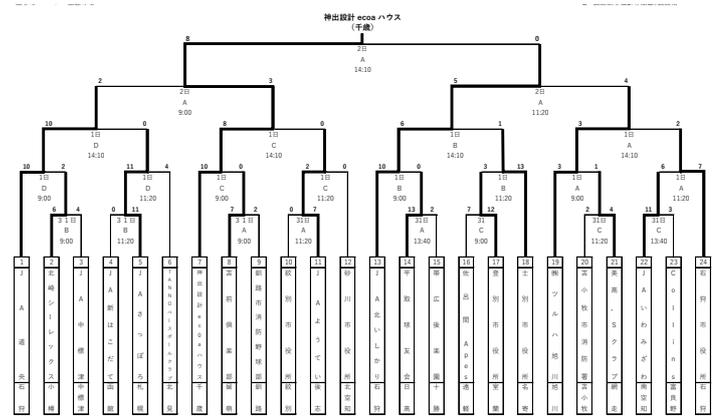
部代表J.A北いしかりと、同じく準決勝でこれも一点差を勝利し勝ち上がってきた千歳支部代表神出設計eCoaハウスの決勝戦となり、我々、大会関係者も予想した投手戦！五回まで両チームゼロが続く中、六回の千歳支部は一番打者からの好打順。先頭打者が四球で出塁しチャンスメイク。続く二番打者がセンターオーバーの二塁打を放ち二・





優勝した「神出設計 ecoa ハウス」チーム

三塁。三番打者がまたも四球で出塁し、ノーアウト満塁。ここぞと主砲が左中間に走者一掃の二塁打を放ち、JA北いしかり先発の大久保選手から三点をもぎ取りました。ここで、石狩支部は一回戦から全ての試合に登板出場したエース斉藤選手に交代するも、やはり準決勝力投の連投となり、千歳支部のその後の勢いを抑えることはできず、この回に一挙八得点を許し、力尽きるかのように七回コールドゲーム！見事優勝



を挿んだのは、千歳支部代表、「神出設計 ecoa ハウス」でした。おめでとうございます。

また、本大会の開催にあたり、支部大会を通じ、審判技術向上やルールを再確認し、また、感染対策など準備に取り組みましたが、今大会を無事に終了できましたのも参加チームのご協力はもとより、各支部皆様のご支援のおかげと思っています。特に、道央圏内の支部、そして、室蘭支部、南空知支部、苫小牧支部、

後志支部におかれましては、交流審判派遣など多大なご支援をいただきました。ありがとうございます。改めて役員一同、心から感謝申し

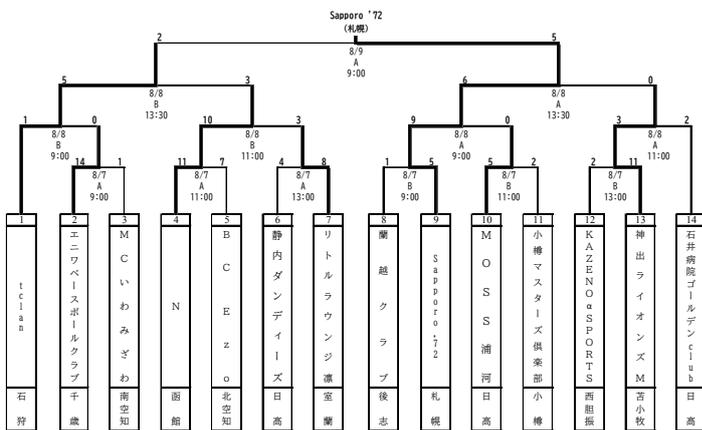
日本スポーツマスターズニニニ 軟式野球競技南・北海道大会 Sapporo '72 (七年ぶり優勝)

初めて日高支部（新ひだか町・浦河町）で開催されたマスターズ南・北海道大会は八月七日から九日までの三日間、例年のない炎天下でした

が、天候に恵まれた中、十四チームの参加の下に熱戦が繰り広げられました。日高地方は全道でも比較的に気候は、涼夏に過こせる地域ですが、全国的な猛烈な暑さと同じく、今までにない猛夏の中での大会でした。それと共に「新型コロナウイルス感染症予防対策」等、今まで経験のない大会運営（神経を使う）を経験いたしました。大会開催地及び関係者（審判員）はじめ、参加チームの選手は前例のない中での試合であり、大変苦慮したことと思います。今大会は、新型コロナウイルス予防対策として、監督会議・開会式を開催いたしましたが、以前は開

催地支部にとっては会場の設営等の準備に労力を費やしておりましたが、

上げますと共に、今後も変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。（石狩支部リポーター 剣持 司）



中止に伴い運営面では大変余裕のある大会運営をすることができました。また、監督会議中止に伴う事項について心配しておりましたが、何一つ問題もなく大会が遂行されました。また、チーム関係者に打診したところ、前日に監督会議・開会式が無く、クラブチームとしては大会出場が容易との意見が多数あり、今後の大会運営における在り方として大いに参考になりました。試合も「新型コロナウイルス感染症」による練

日本スポーツマスターズ2021 軟式野球競技北・北海道大会

七月二十四日より二十六日までの三日間、遠軽支部主管により、えんがる球場、湧別球場において大会開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、選手入場・退場チームが接触しないよう外野入口を開放し入場いただき、観客の皆様にもご協力をいただき体温測定・アルコール消毒等実施いたしました。

習不足を心配しておりましたが、多少の選手が足を捻挫したり、肉離れをする程度で試合に影響するほどの事態もなく、好試合が展開され決勝は札幌支部と石狩支部の対戦となり、初回に一点ずつ得点、中盤に札幌支部が小刻みに得点を重ね、五対二で七年ぶり二回目の優勝を飾りました。今大会に道連始め関係機関に大変お世話になりました事、お礼申し上げます。

(日高支部)

イムを設けるなどマスク装着時の水分補給に気をつけながら無事大会を終了することが出来ました。大会期間中、運営役員の発案でアイスを毎日差し入れし、ひとときの涼を取っていただき、また遠軽町スポーツ協会からの氷の補給・冷凍庫の借り受け等、大会を下支え頂き感謝しております。

大会は、連日熱戦を繰り広げ二〇一九年の覇者、北見支部「K. B. KIDS」に注目が集まりましたが、残念ながら僅差で二回戦、退負、同



優勝した「サージ網走」!

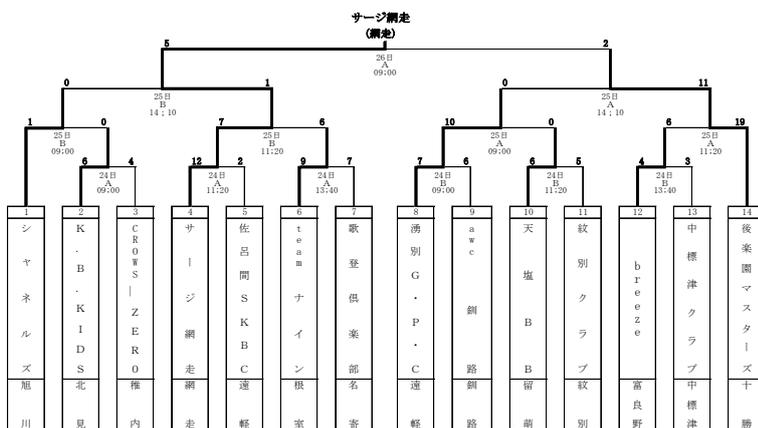
年の準優勝チーム網走支部「サージ網走」が決勝戦まで勝ち上がり、十勝支部「後楽園マスターズ」との緊迫した試合で、四回に追いつき五回に逆転、五対二のスコアで優勝いたしました。

改めて各支部代表の参加十四チームの皆様お疲れ様でした。

結びに、本大会期間中尽力いただいた道連役員・派遣・交流大会審判

員の皆様、そして大会運営スタッフの大勢の皆様に、心より感謝申し上げます。

(遠軽支部 須藤定行)



北海道知事杯 第二十一回北海道軟式野球選手権大会 優勝 神出設計 e c o a ハウス



準決勝 JA 道央 対 JA あさひかわ の熱戦風景

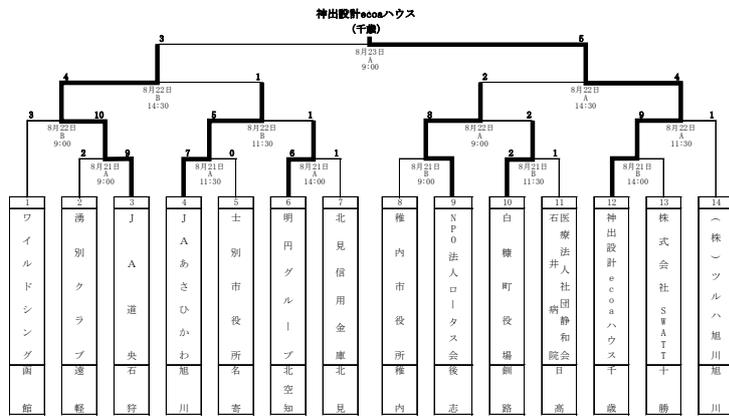


優勝 神出設計 e c o a ハウス

知事杯第二十一回北海道軟式野球大会は、本年七月三一日から八月二日までの三日間にわたり、旭川スタルヒン球場・旭川ドリーム球場において十二チームが執戦を繰り広げました。昨年はコロナ禍で中止となり、今年も開催が危ぶまれていましたが、今

係各位様のご尽力により予定通り開催することが出来ました。しかしながら、七月上旬に解除された、「まん延防止等重点措置」が再度七月末から適用される事となり、当初十四チームが参加予定のところ二チームが棄権しました。また、大会運営委

員・審判員も職場の規定により参加出来なくなった方が多く、人員の配置等は計画通りに行かず、大会運営は容易ではありませんでした。そのような状況で開催された大会でしたが、三日間天候に恵まれ、コロナ禍で制約がある中、選手は野球が出来る喜びを感じながらプレーしていたように感じました。試合に勝っても負けても爽やかな笑顔が溢れる大会であったと思います。



大会は、初日から延長十一回の熱戦があるなど好試合が続きました。二日準決勝は J A 道央が一点ビハインドの七回に一挙四点を勝ち越し、J A あさひかわに勝利しました。もう一方の準決勝は、神出設計 e c o a ハウスが中盤逆転し、粘る N P O 法人 ロータス会を四対二で退け決勝に進出しました。決勝は、神出設計 e c o a ハウスが序盤に二点を先行しましたが六回に J A 道央が三点を奪い逆転、そのまま最終回を迎えましたが九回表に神出設計 e c o a ハウスが三点を挙げ再逆転、五対三で優勝しました。決勝戦に相応しい素晴らしいゲームで大会を締め切りました。

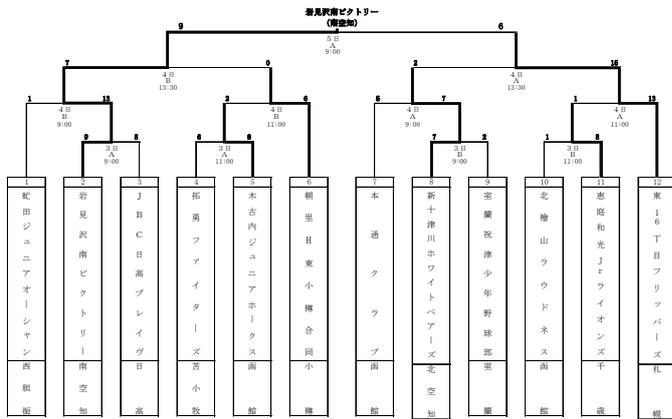
最後に、大会期間中、大会運営及びコロナ感染予防対策等に適切なご指導を賜りました道連派遣役員の皆様に感謝申し上げます。また、派遣審判技術員、交流審判員の皆様、地元審判員、運営スタッフの皆様には少ない人数での大会運営となり、いろいろとご迷惑をおかけしましたが、皆様の熱意あふれるご協力により無事大会を終えることが出来ました。心より御礼申し上げます。

(旭川支部 大会運営委員長 石突 伸夫)

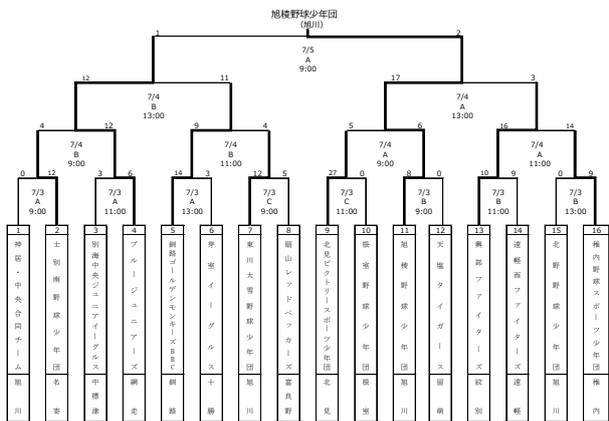
高円宮賜杯第四十一回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント 南北海道予選大会

ぐずついた天気の中、各支部十二チームの参加で、北斗市運動公園野球場と、函館市西桔梗球場の二会場
で熱戦を繰り広げた。ボールボーイ等を地元チームから応援を頼み、また、感染対策重点に、試合開始前、終了時に、ベンチ内の消毒、手洗いのハンドソープや消毒用エタノールの設置、ロジンは、両チーム共用しないなど、感染対策をしっかりと行い安心してゲームに臨んでもらった。反省点としては、トスの際に、本部席に集まってもらったが密になる傾向があった。今後、対策が必要かと感じた。試合結果は、総合力に勝った南空知代表、岩見沢南ビクトリーが見事優勝を飾った。全国大会に行っても勝ち進める総合力のあるチームだった。今大会に携わったスタッフのおかげで、無事に大会を終える事ができましたお礼申し上げます。

(函館支部リポーター 田島 訓)



優勝 旭稜野球少年団



高円宮賜杯 第四十一回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメントは七月三日から五日まで旭川支部主管で、旭川ドリウムスタジアム、東光スポーツ公園第二球場、東川町ゆめ公園軟式野球場で開催されました。

今大会は十五試合中七試合がワールドゲームで勝敗が決定し、各チ

ムがコロナ過での練習が思う様に出なかつた印象を受けました。準決勝の網走支部 ブルージュニアーズと釧路支部 釧路ゴールデンキーズ戦は打撃戦と成り十二対十一で網走支部 ブルージュニアーズが、サヨナラ勝ちをしました。

この試合で、ブルージュニアーズの村上陽亮選手がスリーランホームランと、サヨナラ ツーランホーム

高円宮賜杯 第四十一回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント北・北海道予選大会

ランを放ち観衆は度肝を抜かれまし
た。

決勝は網走支部 ブルージュニ
アーズと旭川支部 旭稜野球少年団
の戦いと成りました。

一回裏に旭稜野球少年団が一点を
先制し、ブルージュニアーズが四回
表に同点に追いつく手に汗握る決勝
戦に相応しい試合と成り、延長タイ
ブレークかと思われましたが、七回
裏に旭稜野球少年団が決勝点を上
げ、サヨナラ勝ちで全国大会出場を
決め、熱戦に終止符が打たれました。

観衆の皆様は両チームの熱い戦い
に酔いしれ最後まで、あたたかい拍
手をいただきコロナ過での第四十一
回大会を無事に終了する事が出来ま
した。

色々な制約がある中ご協力をいた
だきました、参加十六チームの選手、
指導者、保護者、大会役員の皆様
のご協力に感謝申し上げます。有難う
ございました。

(旭川支部リポーター 三島 基)

第五十回全道少年軟式野球大会 新得町野球少年団 猛暑に打ち勝ち初優勝

第五〇回全道少年軟式野球大会が
八月一日から同四日まで美香保公園
野球場三面で、全道の二十四支部を
勝ち抜いた代表二十五チームが集
い、北海道の頂点を目指して四日間
に渡って熱戦を展開しました。

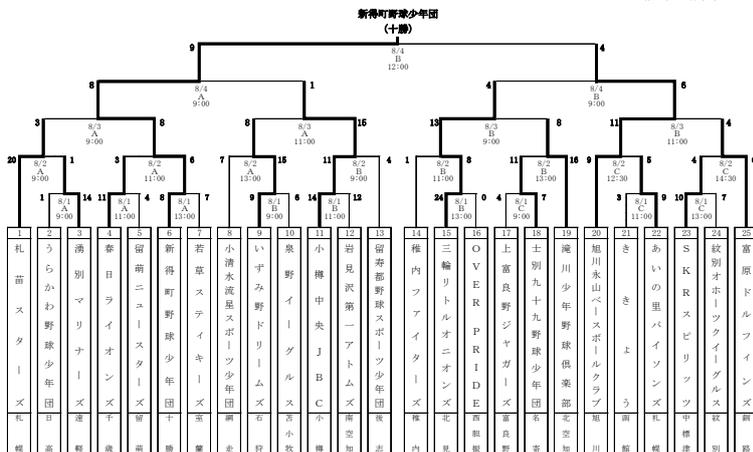
今大会は、昨年、新型コロナウイルス
感染拡大防止の観点から中止、
二年ぶりの開催となった。

例年使用していた全天候型球場・
札幌コミュニティドーム(つどいむ)
は、コロナ禍でのコロナ感染予防の
ワクチン接種会場となり使用できな
かった。開会式についても、コロナ
感染防止に配慮し中止となった。

決勝は十勝支部の新得町野球少年
団と、旭川支部の旭川永山ベ
ースボールクラブが対戦。ピンチの場
面でも多くの好守備を見せた新得町野
球少年団が十勝支部として節目となる
第五〇回大会を初優勝で飾った。

大会期間中は札幌で連日三〇度以
上の真夏日が続く炎天下での試合と
なり、各チームは「熱中症」対策に
気を配っていた。今年は、コロナ禍

での大会となり、各チーム、大会関
係者の安全・安心を図るため「健康
チェックシート」の提出、マスクの
着用、ベンチ内の消毒、密集・密接
の回避など感染予防対策を行った。
大会期間中、試合運営に関わった
役員・審判団そして加盟チームから



の補助員など多くの方々
に協力いただいたことに、心より感謝とお礼を
申し上げます。
(札幌支部 藤山眞一)

第三十八回全日本少年軟式野球北海道大会 滝上・興部・西興部合同中学校（紋別支部） 初優勝を飾る！

滝上・興部・西興部合同中学校（紋別支部） 初優勝を飾る！

七月十七日から十九日、連日三十三度以上の猛暑が続く中、二十七チームが参加して行われた大会は、史上初の合同チームが優勝を飾りました。一回戦から順調に勝ち進んだ紋別支部は、決勝戦では同じオホーツク圏の北見支部と対戦、四対三で勝利を収め北海道代表として全国大会



暑い中、熱戦を繰り広げる（恵庭球場にて）



優勝チーム（滝上・興部・西興部中学校）



準優勝チーム（北見市立北光中学校）

に駒を進めました。

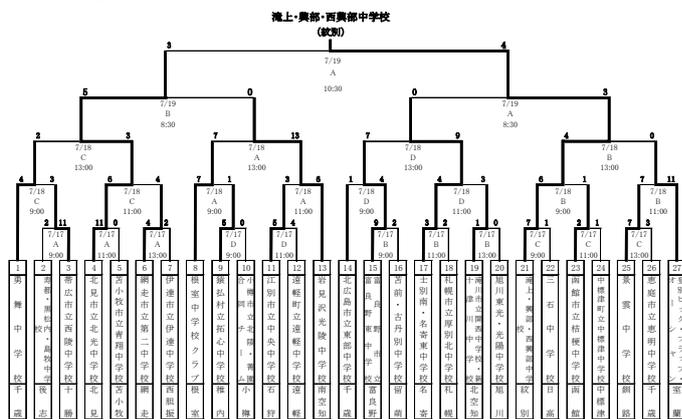
大会二日目の十八日はダブルの試合があり二試合目になると熱中症との戦いでもあったと感じました。あのチームの捕手は、ベンチ内では亀の甲羅のように背中にも氷を背負って身体を冷やし、守備につけば暑さを感じさせない全力プレーで投手を鼓舞している姿や、打者の安打性の打球も足が痙攣し惜しくもアウトと

なって悔しがる姿は目に焼き付いて離れませんでした。また、真っ赤な顔で打者席に入ろうとして球審に「大丈夫か？」との問いかけにも答えられず意識朦朧として仲間に抱えられ交替した選手もいました。

特に優勝した紋別支部チームは北ブロック代表にも拘わらず暑さをものともせず全力でプレーした姿は見ている人々に大きな感動を与えました。本大会には、紋別支部をはじめ五支部が合同チームとして参加しましたが、近年、野球人口の減少に伴い単独チームの編成が困難な状況が増

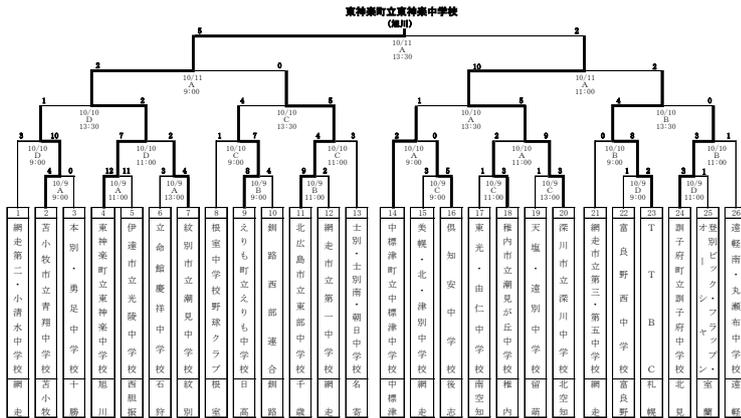
えており、今回もその象徴であったと思います。紋別支部は全国大会に臨むに当り「全国大会で勝利を目指すのはもちろんだが全国の合同チームに勇気と感動を与えたい」との意気込みで二回戦まで進みました。今後、合同チームの増加が見込まれる中、紋別支部の健闘に敬意を表する次第です。

（千歳支部リポーター 清水為一）



第十三回全日本春季軟式野球大会北海道予選会兼第十八回北海道中学軟式野球選抜選手権大会開催について

去る十月九日(土)より十月十一日まで、第十三回全日本春季軟式野球大会北海道予選会兼第十八回北海道中学軟式野球選抜選手権大会が網走スポーツトレーニングフィールド・網走市営野球場・美幌町柏ヶ丘公園野球場・小清水町野球場の四



(緊迫の決勝戦)

会場で行われました。この大会は当支部の開催予定ではありませんでしたが、日々練習を重ねている少年達の為に是非開催をという事から急遽、網走支部が担当して開催する運びとなりました。準備期間不足な中、各所での手指の消毒・ベンチ内消毒など、コロナ対策に万全を期したところですが、全道各地からの参加により、衛生管



(閉会式にて)

理に苦慮しました。又、天候も大会最終日の十一日は前日より雨が降り、グラウンドコンディションは最悪の状態でしたが、大会役員、審判部その他大会関係者の早朝からの整備作業により、延期も危ぶまれましたが、なんとか準決勝・決勝を行う事が出来たのは感動的でもありました。試合結果は、優勝した旭川支部の東神楽中学校、準優勝の北空知支部代表の深川中学校の決勝戦となり、両校共悪天候も吹き飛ばす程、とても元気ハツラツとプレイされ、素晴

らしい試合でした。ほんの僅かの差で雌雄を決しましたが、見ている我々も気持ちの良い試合をしてくださいました。両校共、来春行われる全国大会では大いに活躍して欲しいと思います。

最後になりましたが、急遽の開催となった大会でしたが、迅速な対応をしていただきました、網走野球連盟・美幌町野球連盟・小清水町野球連盟の関係者の方々には大変お世話になりました。この書面にて改めて感謝申し上げます。次年度以降も、支部内外の関係者と連携を益々強化し、大会運営を行って行きたいと思

(網走支部 遠藤敏明)

「NPBガールズトーナメント 二〇二二」・「第六回 全日本中学女子軟式野球大会 北海道予選会」

昨年は新型コロナウイルスの影響で中止になり、今年も予定されていた日程が、緊急事態宣言の延長により一週間遅れの、六月二十六日・二十七日の二日間で十勝支部主管により二大会が同時開催されました。

今年の大会は特に暑く、両日三〇度以上の真夏日での試合となり、選手は暑さとも戦う大会となりましたが、NPBガールズでは「とかちスマイルレインボー」の四連覇、中学



とかちスマイルレインボー（ガールズ）



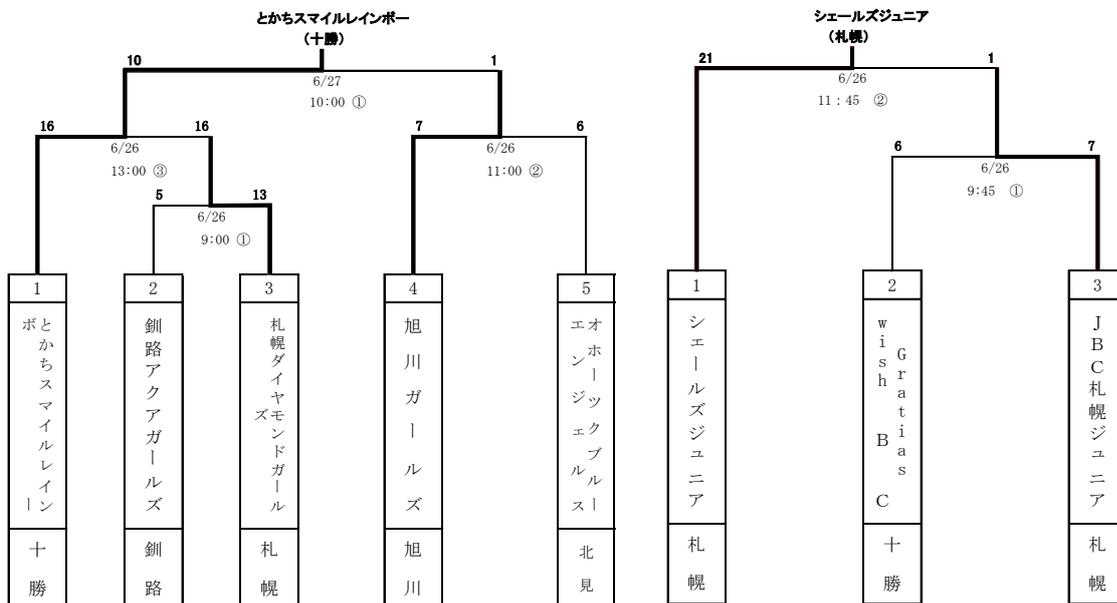
シェールズジュニア（中学女子）

女子では「シェールズジュニア」が三連覇をそれぞれ達成しました。コロナ感染や、熱中症の心配のあるなか気迫あるプレーをみせてくれた、両大会参加全チームの選手皆さんに心から拍手を送りたい気持ちです。

また来年、十勝帯広で選手の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

最後に大会期間中にご協力いただき

きました皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。
（十勝支部）



各部近況報告



北海道代表チーム（岩見沢南ビクトリー）

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から国体の北海道大会は開催しましたが、本大会の三重国体が中止となり道外合宿と少年野球指導者講習会（札幌支部開催）を中止と致しました。その中で高円宮賜杯全日本学童全国大会出場チームへの出前指導は岩見沢支部・旭川



北海道代表チーム（旭稜野球少年団）

支部の協力により予定通り開催することができました。新潟県で開催されました全国大会では北海道代表チーム、岩見沢南ビクトリーがチーム一丸となって見事第三位に輝きました。おめでとうございます。新型コロナウイルス第六波がどうなるか見えない状況であることから、成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会（全軟連主催）をWEB開催、

NPO法人北海道野球協議会と連携をとりながら行っているスポーツ指導者養成講習会についてもオンライン講習となるため今年度も講習資格を付与することが認められない状況です。

来年こそ何とかスムーズに事業を進めていきたいと願うばかりです。

（育成強化部）

支部トピックス

旭川支部

「二〇二二年度 スポーツ検診 実施報告」

「スポーツ検診」は二〇一〇年に、当支部現理事長竹本 功が「成長期の過程にある選手に将来を含めて楽しく野球に取り組んでいただく」事を目的に、学童チームの選手を対象に、札幌市スポキチクリニック院長伊藤雄人先生と（株）B・MOVE理学療法士 小迫伸也先生のご協力をいただき、少年野球の活動が一段落する十月下旬を目途に毎年開催しています。

検診の内容は、各選手から提出された問診票に沿って、両腕の肘の内



メデイカル検査（エコー） 手前左側 一か所
フィジカル検査正面奥 五か所

側、外側をエコーでの検査と、身体の柔軟性（フィジカルチェック）を測定します。

エコー検査で異常を認められた選手保護者には直接、伊藤医師から検査結果を説明し医療機関への紹介状が渡され後日、旭川市内の病院を受診していただきます。

身体の柔軟性（フィジカルチェック）の測定では、理学療法士が九項目のチェックカ所の柔軟性を測定（数値化）し、数値の低い項目は、その場で理学療法士から、選手、保

▽軟式野球 社会を明るくする運動会用ソフトボール北道交流大会(3日、旭川ドリームスタジアム)
 ▷準決勝 とちかスライレイ
 ンボー十勝支部(オホーツクフルーエンシエルス(北見支部)、旭川ガールズ(旭川支部)4、釧路アガールズ(釧路支部)▽3位決定戦 釧路アガールズ10-7オホーツクアールエンシエルス(決勝)とちかスライレイ10-8旭川ガールズジャストミート。社会を明るくする運動会ソフトボール北道交流大会(3日、旭川ドリームスタジアム)



左より旭川 釧路 十勝 オホーツク



旭川ガールズチーム

編集後記

お陰様で、二〇二一年シーズンも無事全大会を終了しました。

昨年からの、「コロナ感染状況」は今年もおさまることもなく、「コロナ感染第五波」という大きな感染状況から、東日本一・二部北海道予選大会が来年春に延期になり、全国的にも全日本シニア大会、日本スポーツマスターズ、国民体育大会等が中止になるというシーズンになりました。

その様な状況の中で開催された北海道の各大会では、大会関係者の徹底した「コロナ感染防止対策」により、何事なく無事終了出来たことは、本当に良かったと思います。

又、今年は九七年ぶりに札幌市の連続真夏日記録の更新など、北海道は例年になく暑い夏となりました。

大会では、「コロナ感染防止対策」と同時に、「熱中症対策」にも気を付けなければならず、両方のガイドラインを遵守しなければ

ならないなか、大会出場チームの監督、コーチ、選手や、応援の方々のご協力と、大会関係者のご尽力に心から感謝申し上げます。

今、少しおさまりを見せている「コロナ感染状況」ではありますが、まだまだ油断出来る状況ではありません。

なんとか、この冬を越えるころには終息し、来シーズンは「コロナ感染」をあまり気にすることもなく、応援の大きな声援の中で大会が開催出来ることを願うばかりです。

総務部理事 小川 敏也



2022年度 北海道大会・全国大会開催日程(案)

大会名	主管支部	開催地	会期	締切	抽選	全国大会				
						開催地	会期	締切	抽選	
天皇賜杯 第77回全日本軟式野球 大会	南大会	後志	黒松内町 蘭越町	7/15(金) ～7/18(月)	7/5 (火)	7/6 (水)	佐賀県	9/16(金) ～9/21(水)		
	北大	名寄	名寄市 士別市	7/15(金) ～7/18(月)	7/5 (火)	7/6 (水)				
高松宮賜杯 第66回全日本軟式野球 大会(1・2部)	南大会	北空知	滝川市 深川市 新十津川町 芦別市	7/9(土) ～7/11(月)	6/28 (火)	6/29 (水)	1部 長野県	9/3(土) ～9/5(月)		
	北大	紋別	紋別市 興部町 滝上町 雄武町	7/15(土) ～7/18(月)	7/5 (火)	7/6 (水)	2部 宮城県	9/10(金) ～9/12(月)		
第77回国民体育大会 軟式野球競技北海道大会		富良野	富良野市 南富良野町 中富良野町	8/5(金) ～8/8(月)	7/26 (火)	7/27 (水)	栃木県	10/7(金)～ 10/10(月)		
日本スポーツマスターズ2022 軟式野球競技北海道大 会	南大会	小樽	小樽市 仁木町	7/22(金) ～7/25(月)	7/12 (火)	7/13 (水)	岩手県	9/23(金)～ 9/26(月)		
	北大	留萌	留萌市	7/22(金) ～7/25(月)	7/12 (火)	7/13 (水)				
第45回東日本軟式野球 北海道大会(1・2部)	南大会	札幌	札幌市 江別市	9/22(木) ～9/25(日)	9/13 (火)	9/14 (水)	2023年度 1部(45回大会)			
	北大	十勝	帯広市 幕別町	9/2(金) ～9/5(月)	8/23 (火)	8/24 (水)	2023年度 2部(45回大会)			
北海道知事杯 第22回北海道軟式野球選抜 選手権大会		旭川	旭川市	8/27(土) ～8/29(月)	8/16 (火)	8/17 (水)	茨城県	11/11(金)～ 11/15(火)		
高円宮賜杯 第42回全日本学童 軟式野球大会	南大会	後志	二セコ町 蘭越町	6/25(土) ～6/27(月)	6/14 (火)	6/15 (水)	東京	8/8(月)～ 8/14(日)		
	北大	網走	網走市 美幌町 津別町	6/25(土) ～6/27(月)	6/14 (火)	6/15 (水)				
第51回全道少年軟式野球大会		札幌	札幌市	7/29(金) ～8/3(水)	7/19 (火)	7/20 (水)	阿波踊りカップ全国学童大 会2022 徳島県			
第39回全日本少年軟式野球 北海道大会		千歳	千歳市 恵庭市 北広島市	7/15(金) ～7/18(月)	7/5 (火)	7/6 (水)	神奈川県	8/21(日)～ 8/25(木)		
第14回全日本少年春季軟式野球北海道 予選会・第19回北海道中学校軟式野 球選抜選手権大会		北空知	滝川市 砂川市 新十津川町 深川市	9/23(金) ～9/26(月)	9/13 (火)	9/14 (水)	2023年度(第13回大会) 静岡 3/21(月)～ 3/25(金)	未定 /	未定 /	
NPBガールズトーナメント2022		十勝	帯広市	6/18(土) ～19(日)	6/7 (火)	6/8 (水)	石川	7/29(金)～ 8/4(木)		
第7回全日本中学女子軟式野球大会 北海道予選会		十勝	帯広市	6/18(土) ～19(日)	6/7 (火)	6/8 (水)	京都	8/18(木)～ 8/24(水)		
第6回全日本シニア 軟式野球大会	南大会	札幌	江別市	9/10(土)	8/30 (火)	8/31 (水)	埼玉 (第5回)	5/27(金)～5/30(月)		
	北大	稚内	稚内市	9/10(土) ～11(日)	8/30 (火)	8/31 (水)				
第44回東日本全国大会 <1部・2部> 〔出場チーム〕							北海道 北見市(1部)・網走市(2部)			
文部科学大臣杯第13回全日本少年春季軟式野球大会 〔出場チーム〕 東神楽町立東神楽中学校(旭川) 深川市立深川中学校(北空知)							静岡県			
スタルヒン杯(スポーツ少年団交流大会) 7/16(土)～7/18(月)							旭川市			
※ 第44回東日本軟式野球 南北北海道大会 <1部・2部> 4/29(金)～5/1(日)							室蘭市			
※ 第44回東日本軟式野球 北北海道大会 <1部・2部> 5/7(土)～5/9(月)							留萌市(1部)稚内市(2部)			